

令和4年度「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」活動報告（概要）

歴史教室

-南宮大社月次祭と椿祭(高山社祭)に参列しよう-

4月15日(金)

地域住民12名参加

毎年4月15日、「白玉椿」が咲き乱れる中南宮山の山頂近くにある高山社の奥宮にて「高山社祭(椿祭)」が執り行われます。

神職が奥宮に向いて祝詞奏上、玉串拝礼などの神事を斎行し、御祭神である木花開耶姫命このはなさくやひめのみことに祈りを捧げます。

今回は、垂井町内から12名の皆さんが参加。南宮大社拝殿で月次祭に参列後、宝物殿を見学し、斎館にて呈茶付き昼食のあと、ハイキングコースを奥宮高山社まで登りました。

奥宮前での「高山社祭(椿祭)」の神事に参列し、神職に続いて拝礼させていただきました。

講師 愛する会 藤塚 久勝



歴史研修会

-「朝倉山真禪院の歴史」-

講師 朝倉山真禪院 中川住職

5月23日(月)

会員 39名

今年の定期総会後の研修会は、講師に朝倉山真禪院中川住職をお招きし「朝倉山真禪院の歴史」について講和を受けた。

朝倉山真禪院は、天平11年(739年)行基菩薩が自ら本尊阿弥陀如来尊像を彫刻し安置し「象背山宮処寺」と名付けられた。【宮処寺跡は宮代地区の御所野付近】

延暦12年(793年)には、恒武天皇の勅命により天台宗の開祖最澄(伝教大師)が来山し、南宮大社と宮処寺を両部習合し自ら薬師如来を彫刻し薬師堂を建立、現在の南宮大社地に移転し寺号を「象背山神宮寺」と改められた。

その後、慶長5年(1600年)の関ヶ原合戦で南宮大社及び神宮寺は焼失。寛永19年(1642年)徳川三代将軍家光公より7000両が支給され現行社殿等が完成した。

明治元年(1868年)明治新政府の神仏分離令(神仏判然令)が発せられ、南宮大社境内の本地堂・三重塔(大日堂)・鐘楼の他南宮山の諸堂坊舎が朝倉の現在地に移転された。

この様に約1,280年の歴史の中で、寺名や所在地を3回も改名移転をした数奇な歴史を持つ真禪院、また宮代村の住民の献身的な奉仕作業で4年間での移転完了など、広く皆さんへ伝えてなければと思った。

千之子ども教室(自然観察教室)

-木の上で暮らすモリアオガエル(天然記念物)の卵塊を探そう-

6月20日(月)

宮代小学校4年生30名

恒例の「千之子ども教室(自然観察会)」で、南宮山西蛇池と南宮稲荷の西の池を訪れモリアオガエルの”たまご”を探しました。

モリアオガエルは繁殖期になると、池畔に張り出した灌木樹枝上に点々と白色泡袋状の卵塊を産み付け、孵化後は直接水中に落ちて変態する修正を持ち、垂井町はその群生地として岐阜県の天然記念物に指定されています。西の池では数個の卵塊を見つけました。講師の廣岡会長からは、モリアオガエルは山から自分の生まれた池に来て産卵することやその様子(写真)や孵化後のオタマジャクシの生体、そしてイモリとの関係を勉強しました。

また、宮代は自然が豊で、トノサマガエル・ツチガエル・アマガエル・ヒキガエル・ウシガエルなどについても勉強しました。

講師 愛する会
廣岡清隆、高橋弘美、藤塚久勝



千之子ども教室(歴史講座)
-「壬申の乱」の関連史跡を訪ねて-

10月1日(金)
宮代小学校6年生23名

恒例の千之子ども教室(歴史教室)です。

毎年6年生を対象に、宮代地区内に伝えられている「壬申の乱」にまつわる史跡を訪ねています。

壬申の乱は、西暦672年7月天智天皇の子・大友皇子に対して、天皇の弟で大友皇子の叔父にあたる大海人皇子(後の天武天皇)が兵をあげた日本古代史上最大の内乱です。

この壬申の乱の時の1350年前に、大海人皇子は桑名から栗原山の麓をとおり境野から山麓を北に森下地内に騎行してきたと言われ宮代古道としています。

宮代古道沿いの大峯地区では、大海人皇子が腰かけた腰掛岩や兜を置いた兜掛石があり、また乱の最中に大海人皇子が逃げ込んだ伝説の大杉跡、皇子が休まれた家ではお盆に栗ニツに松葉一ツ付けて進上し逸話などがあり、講師の説明に耳を傾けました。

講師 愛する会
廣岡清隆、高橋弘美、藤塚久勝

その後は県下最大級の古代寺院跡の白鳳時代の宮代廃寺跡を見学、瓦のかけらや三重塔の基礎石(心礎)の説明を受けました。

続いて、祭神に宮勝木実みやすぐりのこのみを祀る大領神社を訪れました。壬申の乱で多大な功績のあった宮勝木実は天武天皇から外従五位下を授けられ、不破の大領となり大領神社に祀られたとのこと。



宮代観光案内所・南宮大社宝物殿来訪者数

南宮山登頂者カウンター数

令和4年4月~令和5年3月				(単位:人)		
月	観光案内所			宝物殿		
	月計	累計	対前年比	月計	累計	対前年比
4月	305	305	158.9%	295	295	86.8%
5月	408	713	131.6%	260	555	46.0%
6月	272	985	152.0%	275	830	69.6%
7月	250	1,235	131.6%	231	1,061	74.8%
8月	343	1,578	268.0%	296	1,357	135.8%
9月	233	1,811	前年度閉館	258	1,615	前年度閉館
10月	343	2,154	100.6%	302	1,917	70.4%
11月	289	2,443	103.2%	519	2,436	78.4%
12月	544	2,987	284.8%	138	2,574	72.3%
1月	155	3,142	88.1%	417	2,991	85.8%
2月	293	3,435	170.3%	288	3,279	125.8%
3月	456	3,891	190.0%	315	3,594	128.0%

令和4年4月~令和5年3月			
月	合計	前年度	対前年比
4月	1,007	1,021	0.99
5月	1,008	1,280	0.79
6月	699	782	0.89
7月	602	622	0.97
8月	600	684	0.88
9月	606	978	0.62
10月	988	1,509	0.65
11月	729	1,232	0.59
12月	552	670	0.82
1月	852	1,043	0.82
2月			
3月	1,193	814	1.47
合計	7,643	10,635	0.72